

# 2014年3月期第3四半期 決算説明会資料

三井物産株式会社

2014年2月5日

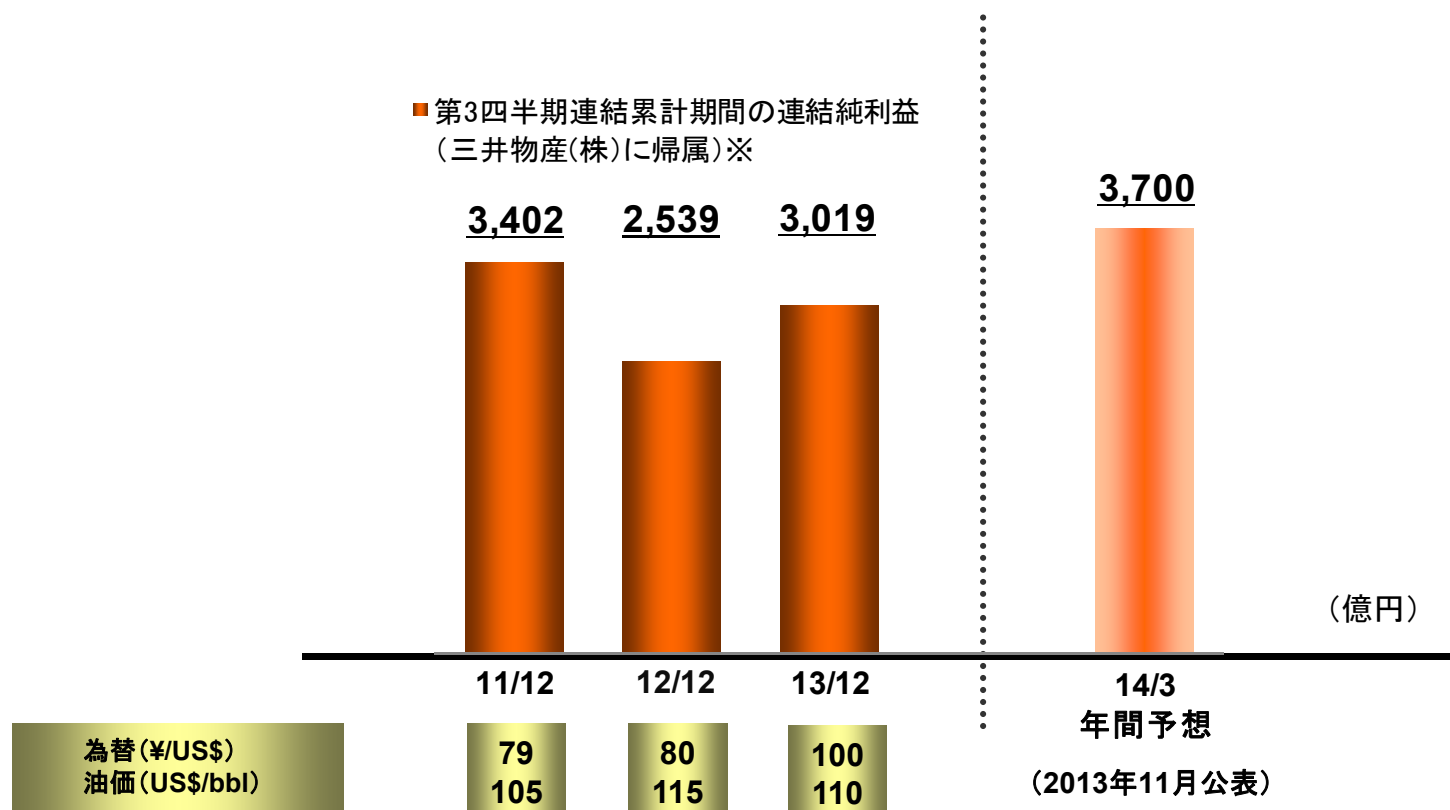
(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基くもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

# 2014年3月期第3四半期決算 業績概要

先進国経済と新興国経済の間の景気局面の違いが鮮明化するも、世界経済全体としては緩やかな成長を持続。日米経済は底堅く推移する一方、構造改革に取り組む中国経済の一層の加速は見込み難い。一部新興国では景気低迷下での金融引き締めという厳しい局面。

✓ 第3四半期累計期間の純利益は3,019億円、前年同期比で480億円の増益。

✓ 前年同期比での石炭市況下落のほか、一過性損失あるも、円安効果、鉄鉱石生産量増加、LNG配当増、化学品・鉄鋼製品のトレーディング復調、好調なIPP事業や自動車関連事業などが増益の主要因。



※本資料では次頁以降「第3四半期連結累計期間の連結純利益 (三井物産(株)に帰属)」を「四半期純利益」と表記しております。

# 2014年3月期第3四半期 投融資計画の進捗

- 3Q累計の投融資実行は7,600億円と計画に対し順調に進捗。
- 資産リサイクルを積極的に進め、3Q累計で2,050億円を回収。ネット資金支出は5,550億円。

事業分野	通期 投融資計画	3Q累計 実行分(億円)	主要案件
金属	2,800	2,400	豪州鉄鉱山出資、豪州鉄鉱石の能力拡張、米州自動車プレス部品事業出資、カセロネス銅鉱山開発
機械・ インフラ	2,800	1,800	豪州発電/電力・ガス小売、リース用鉄道車輛、チェコ水事業、スマートシティ開発、米国IPP
化学品	400	250	米タンクターミナル拡張、タイ洗剤原料製造
エネルギー	3,200	2,500	イタリア陸上油田権益取得、原油・ガス拡張、シェールガス・オイル開発
生活産業	500	450	インド輸液製造、米シニア施設・住宅、チリサーモン養殖
次世代・ 機能推進	300	200	インドネシア高速携帯通信
投融資合計	10,000	7,600	
リサイクル	▲1,700	▲2,050	伯FPSOリファイナンス、エジプト・ニュージーランド油田権益、リース用鉄道車輛、QIWI株式
ネット	8,300	5,550	

\* 青字の案件は当第3四半期で新たに進捗したものの。

# バランスシート、キャッシュ・フロー

## バランスシート

(兆円) 13/3

流動資産	負債
4.6	2.5
	有利子負債
	4.3
投資・その他資産	株主資本合計
5.7	3.2
0.3	非支配持分

総資産	10.3兆円
株主資本	3.2兆円
Net DER	0.89倍

13/12

流動資産	負債
4.7	2.8
	有利子負債
	4.5
投資・その他資産	株主資本合計
6.5	3.6
0.3	非支配持分

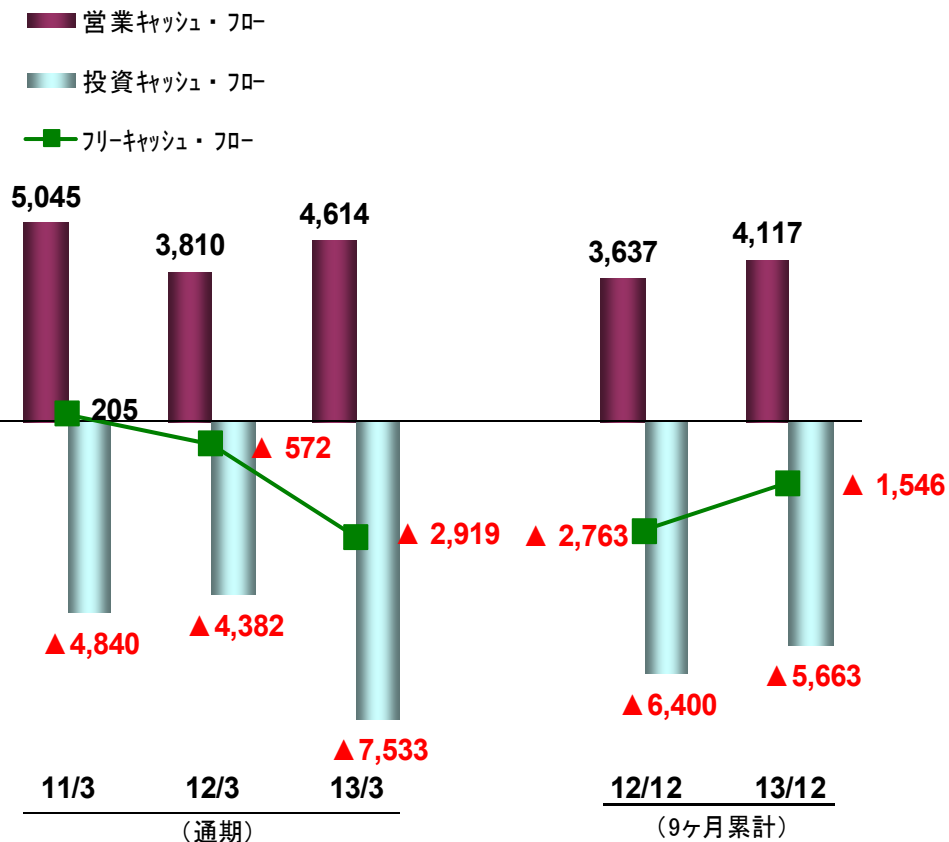
総資産	11.2兆円
株主資本	3.6兆円
Net DER	0.88倍

(\*)有利子負債のカッコ内数字は、ネット有利子負債

## キャッシュ・フロー

➤ 3Q累計の営業キャッシュ・フローは4,117億円の資金獲得。前年同期との比較で480億円増加。

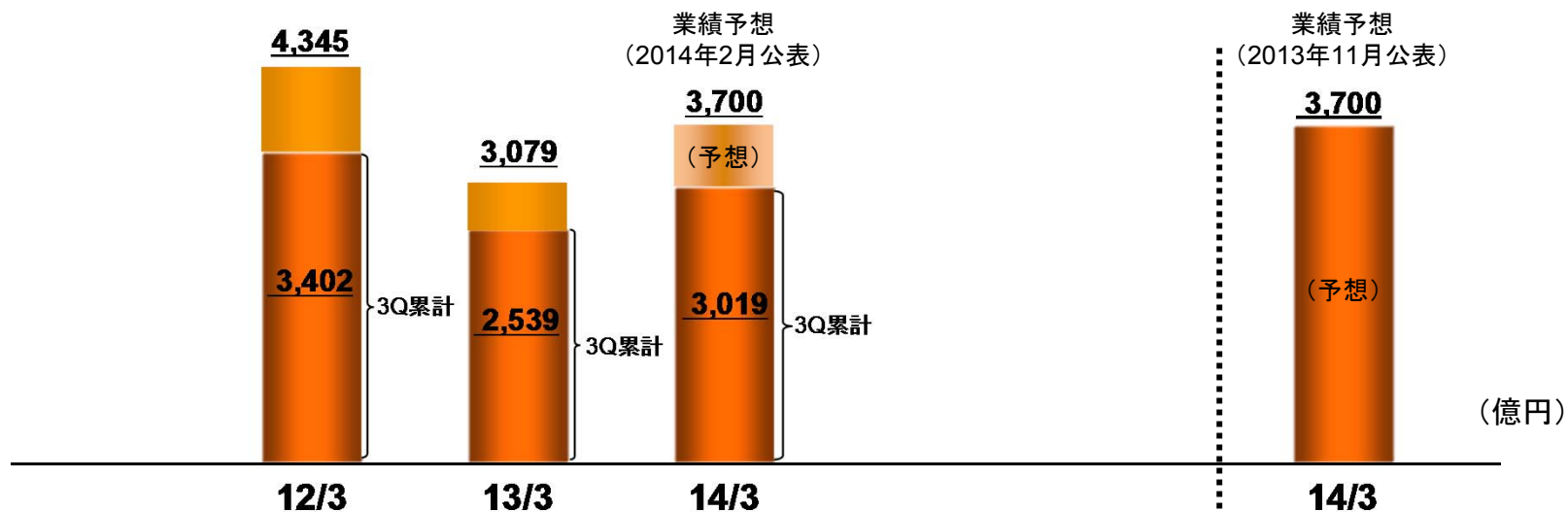
(億円)



# 年間業績予想

# 2014年3月期当期純利益予想

- ▶ 当期純利益予想は2013年11月公表の業績予想3,700億円を据え置き。
- ▶ 金属資源で一過性損失あるも、エネルギー、機械・インフラ、鉄鋼製品などで増益を見込む。



価格変動の14/3期当期純利益への影響額 (2013年5月公表)			14/3通期予想 (3Q累計・4Q平均値) (2014年2月公表)	14/3 3Q累計 (実績)	14/3 4Q (前提)	業績予想 (2013年11月公表)
市況商品	原油/JCC	19 億円 (US\$1/バレル)	109	109	107	105
	連結油価 <sup>(*)</sup>		110	110	108	
	鉄鉱石	22 億円 (US\$1/トン)	<sup>(*)</sup>	129.1 <sup>(*)</sup>	<sup>(*)</sup>	<sup>(*)</sup>
	銅	6 億円 (US\$100/トン)	7,325	7,384 <sup>(*)</sup>	7,150	7,413
為替 <sup>(*)</sup>	米ドル	19 億円 (¥1/米ドル)	99.85	99.80	100	96.83
	豪ドル	19 億円 (¥1/豪ドル)	92.30	93.06	90	91.47
	伯リアル	4 億円 (¥1/伯リアル)	43.66	44.87	40	42.47

(\*) 油価は0~6ヶ月遅れで当社業績に反映されるため、この前提で連結油価を計算。  
14/3期は、34%が4~6ヶ月遅れ、47%が1~3ヶ月遅れ、19%が遅れ無しで反映されると想定される。

(\*) 鉄鉱石の前提価格は非開示。

(\*) 鉄鉱石の14/3期3Q累計実績欄には2013年4月~12月の複数業界紙によるスポット価格指標 Fe 62% CFR North China のdaily平均値(参考値)を記載。

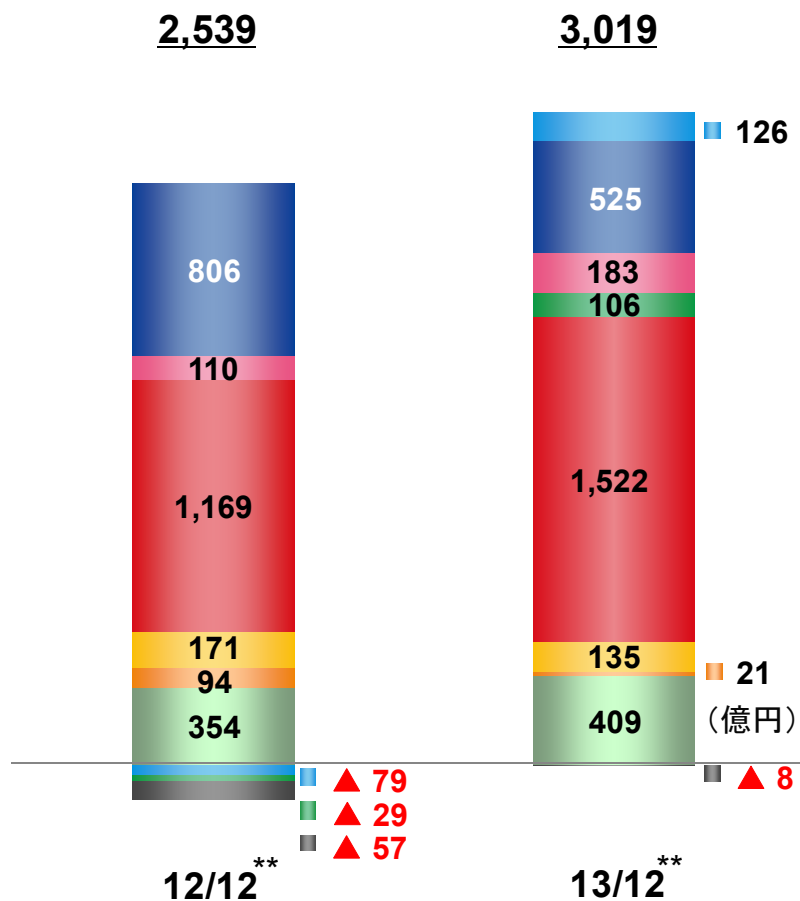
(\*) 銅の14/3期3Q累計実績欄にはLME cash settlement priceの2013年1月~9月平均を記載。

(\*) 各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期純利益に対する感応度。円安は機能通貨建て当期純利益の円貨換算を通じて増益要因となる。  
金属資源・エネルギー生産事業における販売契約上の通貨である米ドルと機能通貨の豪ドル・伯リアルの為替変動、及び為替ヘッジによる影響を含まない。

# 補足説明

# セグメント別第3四半期累計純利益の前年同期比増減

(数値は税後ベース)



**エネルギー** 1,522億円 前年同期比 +353億円 (+30%)

- ↑ LNGプロジェクトからの受取配当金増+355億円
- ↑ MEPMEは、原油の生産量増、生産コスト低下、円安、エジプト油田権益売却により+134億円
- ↑ Japan Australia LNG (MIMI)は、円安により増益
- ↓ MEPAUIは、油田生産設備の改修に伴う生産量減により▲111億円
- ↓ 関連会社未分配利益に係る繰上利益準備金取崩約▲80億円

**鉄鋼製品** 126億円 前年同期比 +205億円

- ↑ 貿易取引に係る為替損益の改善
- ↑ 前年同期の鉄鋼関連上場株式評価損の反動増+43億円
- ↑ トレーディングの復調

**化学品** 106億円 前年同期比 +135億円

- ↑ ダイセル株式売却益+33億円
- ↑ 前年同期の三井化学株式評価損の反動増+30億円
- ↑ 石油化学品原料トレーディングの復調

**機械・インフラ** 183億円 前年同期比 +73億円 (+66%)

- ↑ IPP、自動車関連事業の好調

**金属資源** 525億円 前年同期比 ▲281億円 (▲35%)

- ↓ Valeparは、ValeによるREFIS(滞納税回収プログラム)への申請に伴う損失を反映し▲186億円
- ↓ MLCC(カセロネス銅開発プロジェクト)宛投資の評価損▲141億円
- ↓ 前年同期のコデルコ向け繰上融資手数料の反動減
- ↓ MCHIは、価格下落、未開発石炭鉱区評価損により▲64億円\*
- ↑ MIOD・MIIIは、円安や能力拡張による鉄鉱石の数量増によりそれぞれ+205億円\*、+49億円\*

海外	409億円	前年同期比	+55億円
次世代・機能推進	21億円	前年同期比	▲73億円
生活産業	135億円	前年同期比	▲36億円
その他、調整・消去	▲8億円	前年同期比	+49億円

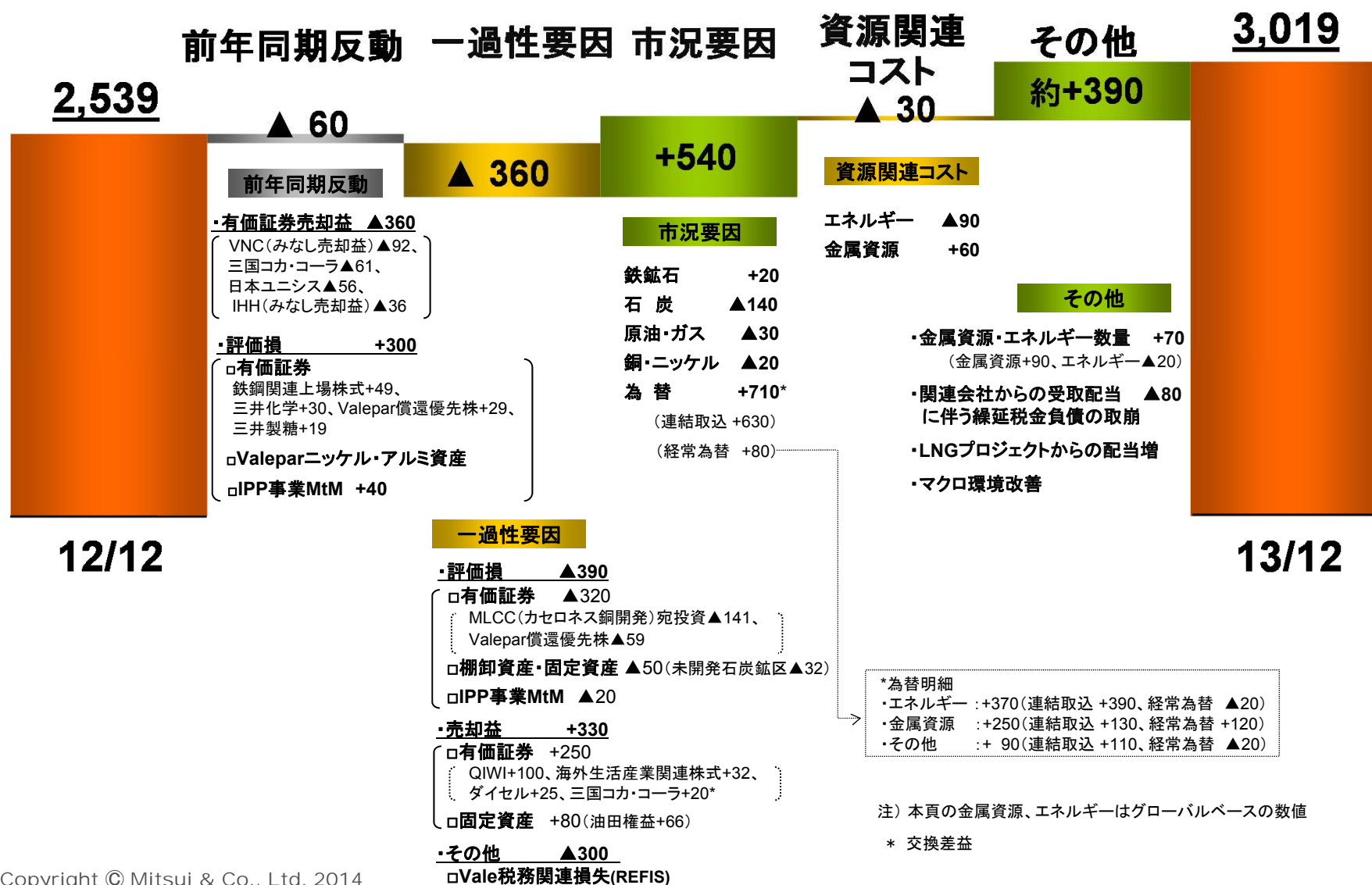
\* 当セグメント持分

\*\* 機構改組に伴う組替反映後 (14/3期は上半期から組替反映)



# 前年同期比の増減要素

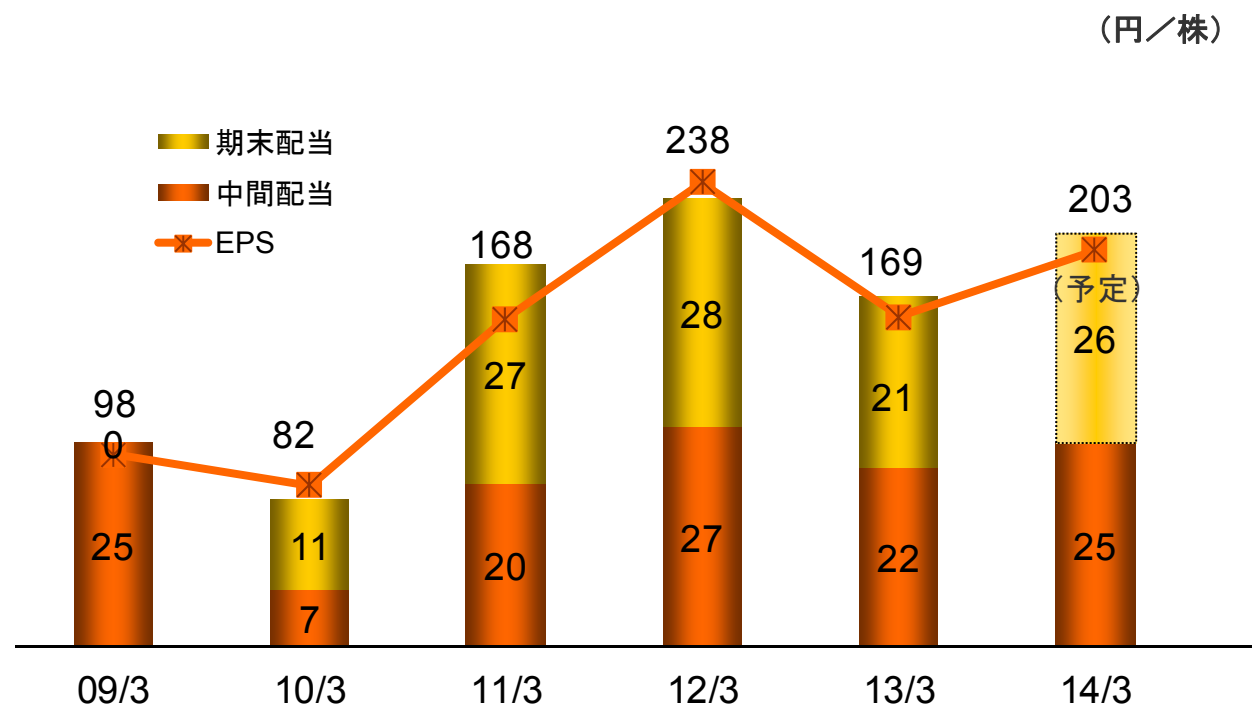
(数値は税後ベース) (億円)



# Appendix

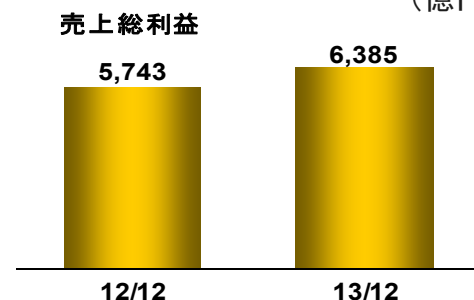
## 2014年3月期 株主還元策

- ・現中期経営計画方針の配当性向25%下限を維持
- ・予想年間配当金は、当期純利益3,700億円を前提に51円/株内、中間配当は25円



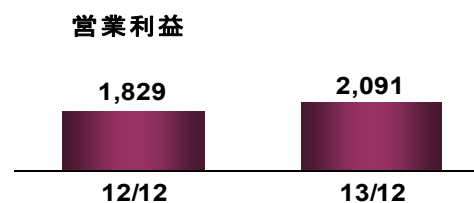
# 主要PL項目の前年同期比増減

(億円)



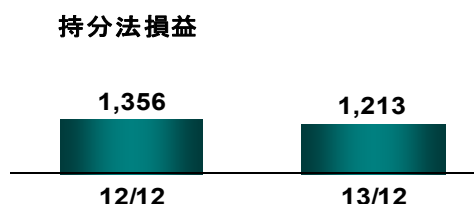
**売上総利益 6,385億円 前年同期比 +642億円 (+11%)**

- ↑ 金属資源 : +258億円 (MIOD、MII: 円安や能力拡張による鉄鉱石の数量増により+392億円)
- ↑ 鉄鋼製品 : +117億円 (堅調なラインパイプ等の鋼管取引、円安の影響)
- ↑ 化学品 : +110億円 (円安、石油化学原料トレーディングの復調、堅調な農薬販売)
- ↑ 機械・インフラ : +109億円 (堅調な南米/自動車及び鉱山・建機関連事業、欧州/機関車リース事業)
- ↑ エネルギー : +101億円 (円安の影響及びコスト低下による原油・ガス生産事業の増益)
- ↓ 次世代・機能推進 : ▲174億円 (商品デリバティブ取引関連為替利益の増加に対応する売上総利益の減少)



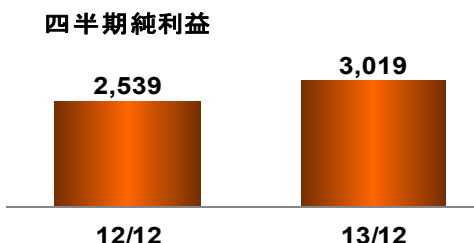
**営業利益 2,091億円 前年同期比 +262億円 (+14%)**

- ↑ 売上総利益の増加を、円安による海外子会社の販管費増が一部相殺



**持分法損益 1,213億円 前年同期比 ▲143億円 (▲11%)**

- ↓ Valeparは、ValeによるREFIS(滞納税回収プログラム)への申請に伴う損失を反映し▲290億円
- ↓ MLCC(カセロネス銅開発プロジェクト)宛投資の評価損▲141億円
- ↓ インドArch Pharamalabs は、固定資産等の評価損により▲42億円
- ↑ RPMC(鉄鉱石の生産事業)は、円安により+111億円
- ↑ IPP事業は、賀州・パイトン3の運転開始、プエトリコ・英国IPP事業の増益などにより+105億円
- ↑ Japan Australia LNG(MIMI)は、円安により増益

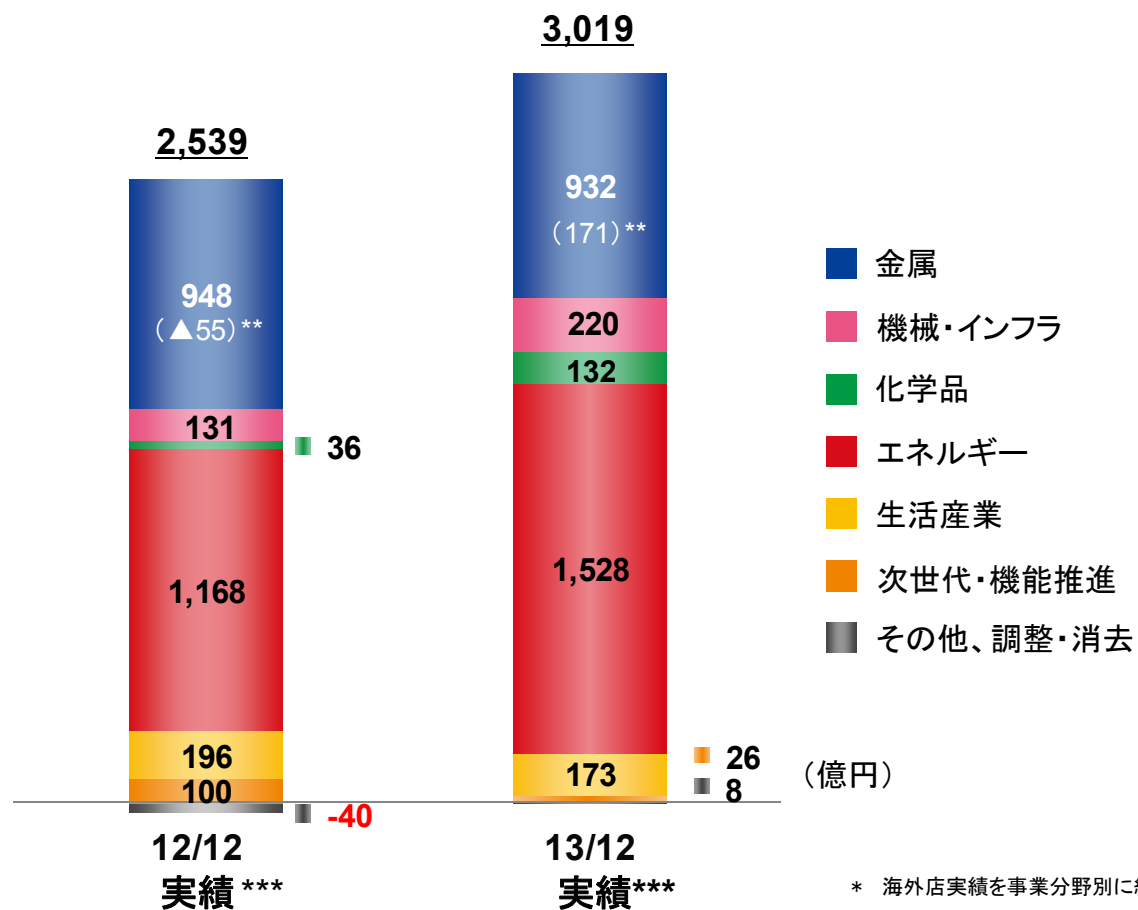


**四半期純利益 3,019億円 前年同期比 +480億円 (+19%)**

- ↑ 受取配当金 (税前)+381億円: サハリンIIを主因にLNGプロジェクトで+355億円
- ↑ 雑損益 (税前)+112億円: 商品デリバティブ取引に係る売上総利益に対応する為替損益+120億円
- ↑ 固定資産売却益 (税前) +66億円: エジプト・ニュージーランドの油田権益+66億円
- ↑ 有価証券評価損 (税前) +45億円:

当期 ▲168億円: Valepar償還優先株▲95億円、LNGプロジェクト宛投資▲33億円  
 前年同期 ▲213億円: 鉄鋼関連上場株式▲49億円、三井化学▲30億円、Valepar償還優先株▲45億円

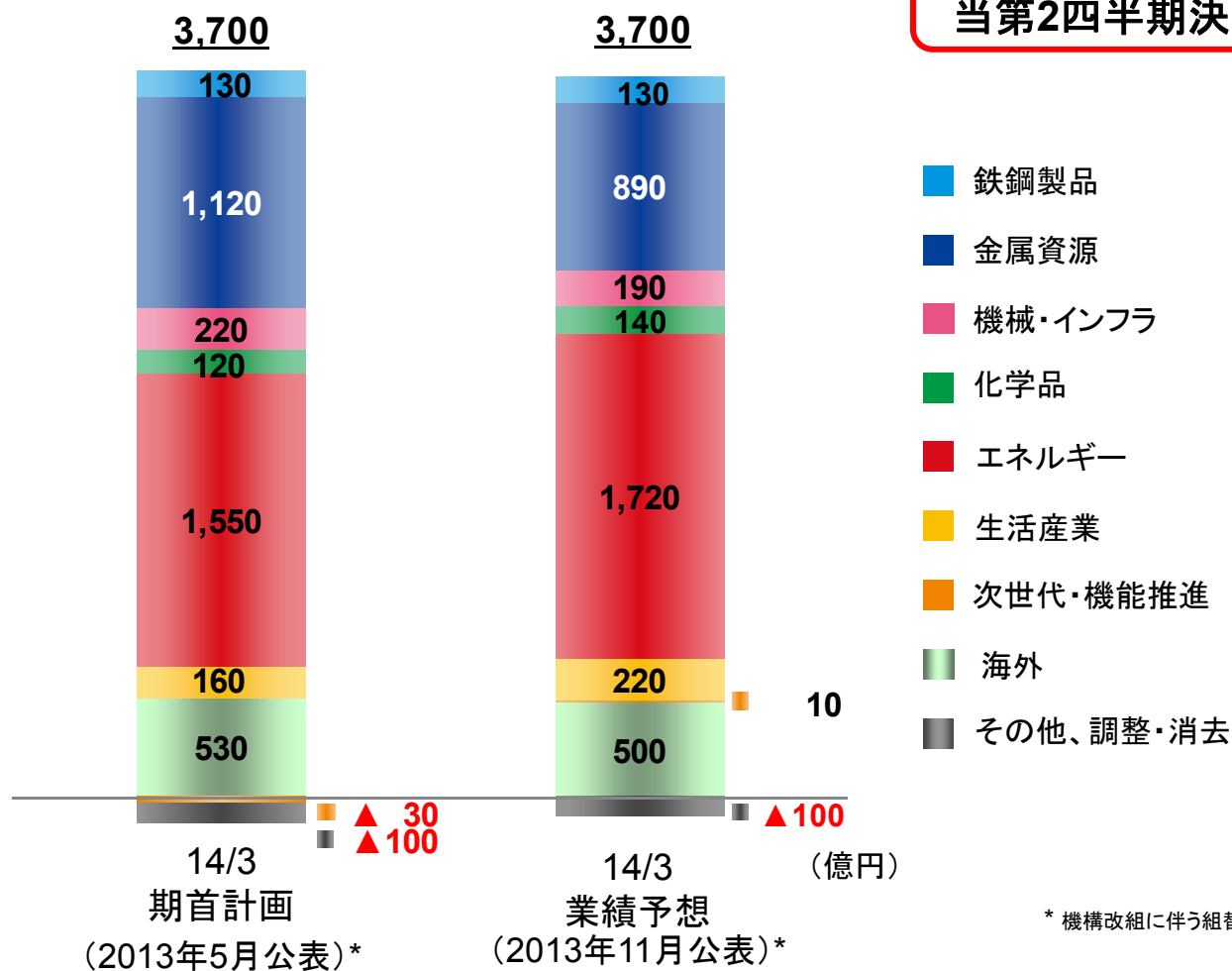
# 全世界ベース 事業分野別 第3四半期累計純利益 (参考値\*)



\* 海外店実績を事業分野別に組替え算出した参考データ  
 \*\* ( )内は、鉄鋼製品のグローバルベースの純利益  
 \*\*\* 機構改組に伴う組替反映後

# オペレーティングセグメント別当期純利益予想

セグメント別当期純利益予想は、  
当第2四半期決算公表時から据置き

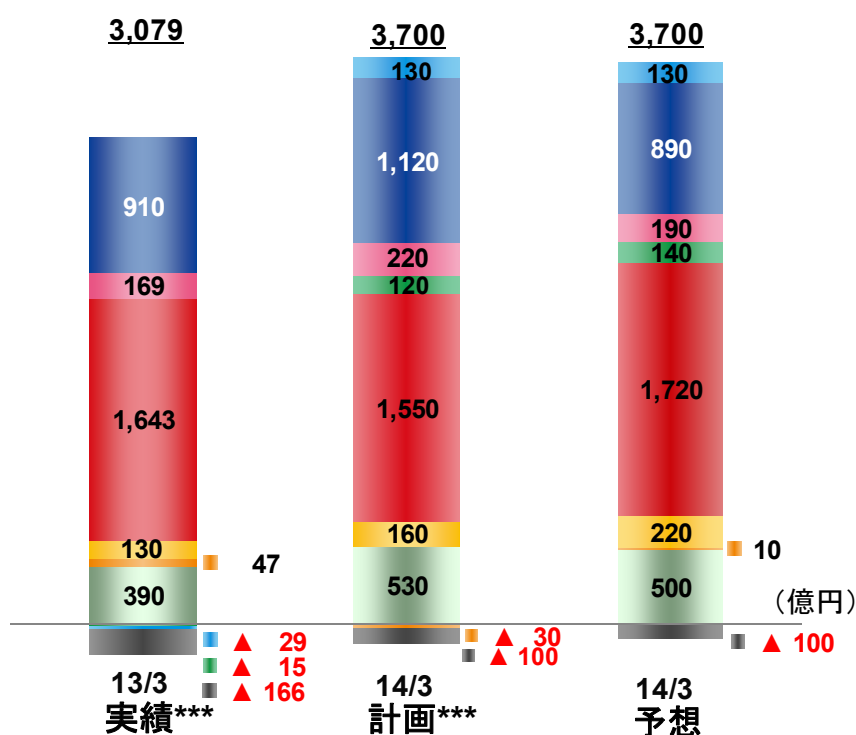


\* 機構改組に伴う組替反映後

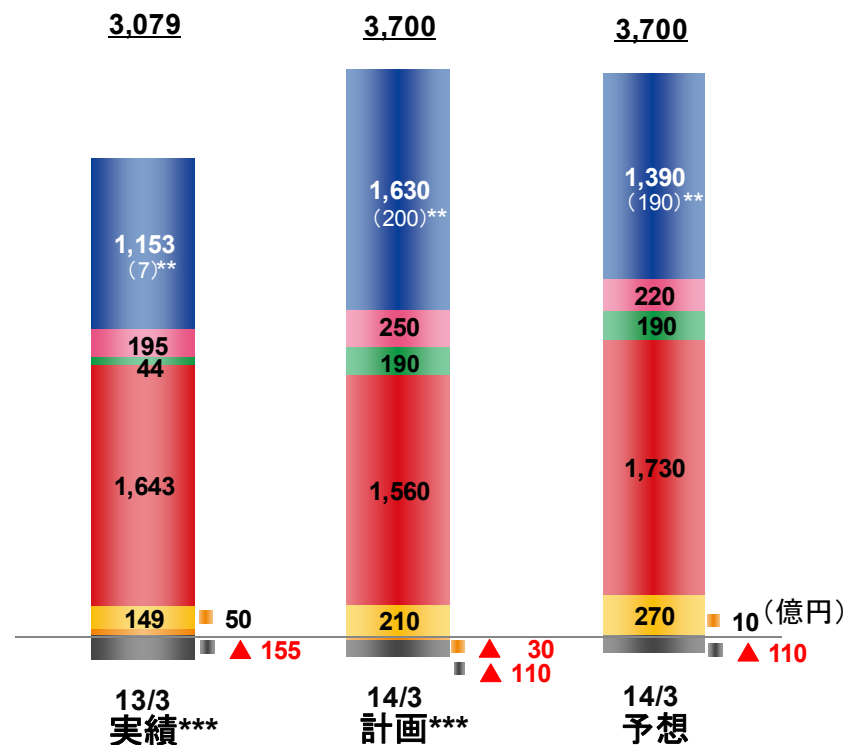
# 2014年3月期 セグメント別・事業分野別純利益 (参考値)

セグメント別・事業分野別純利益予想は、  
当第2四半期決算公表時から据置き

セグメント別



事業分野別(参考値)\*

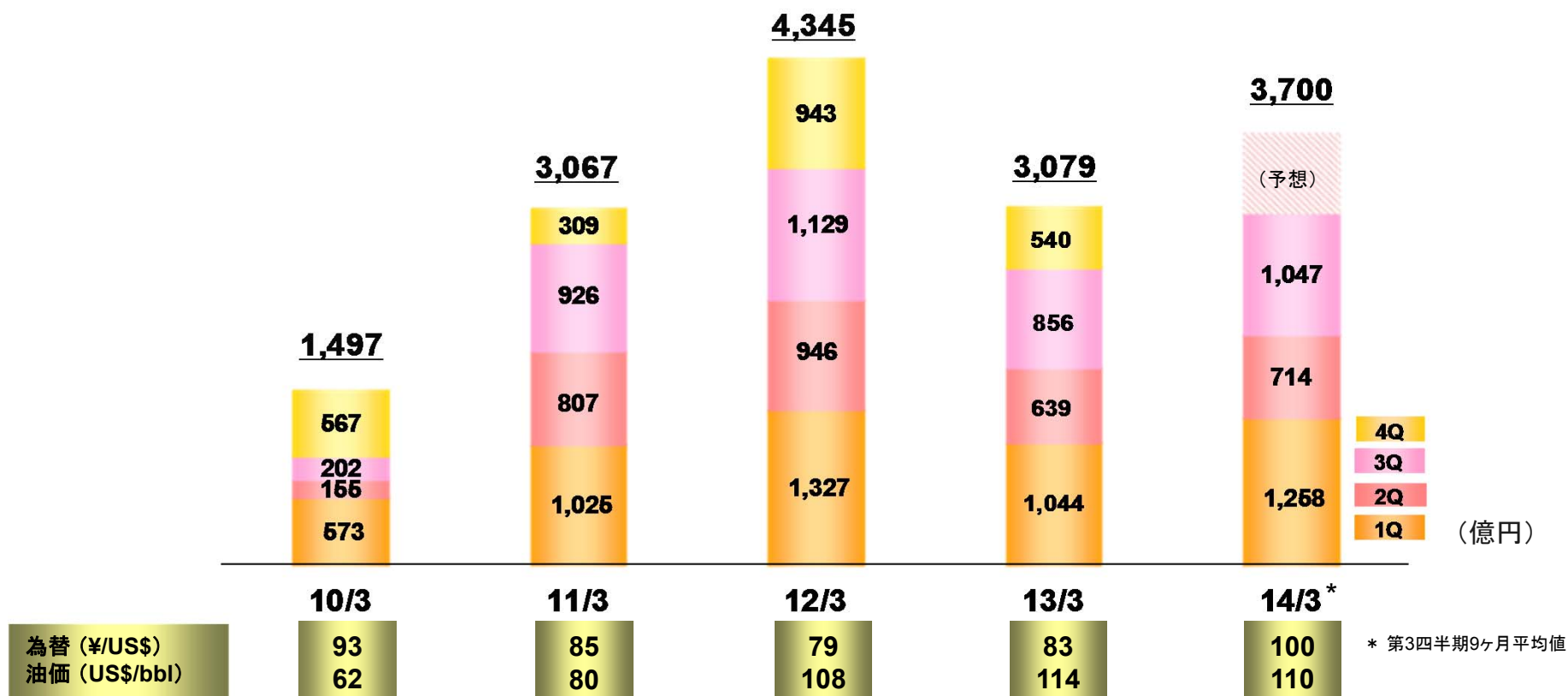


■ 鉄鋼製品 ■ 金属資源 ■ 機械・インフラ ■ 化学品  
■ エネルギー ■ 生活産業 ■ 次世代・機能推進  
■ 海外 ■ その他、調整・消去

\* 海外店実績/計画を事業分野別に組替え算出した参考データ  
 \*\* ( )内は、鉄鋼製品のグローバルベースの純利益  
 \*\*\* 機構改組に伴う組替反映後

■ 金属 ■ 機械・インフラ ■ 化学品  
■ エネルギー ■ 生活産業  
■ 次世代・機能推進 ■ その他、調整・消去

# 四半期毎の純利益推移



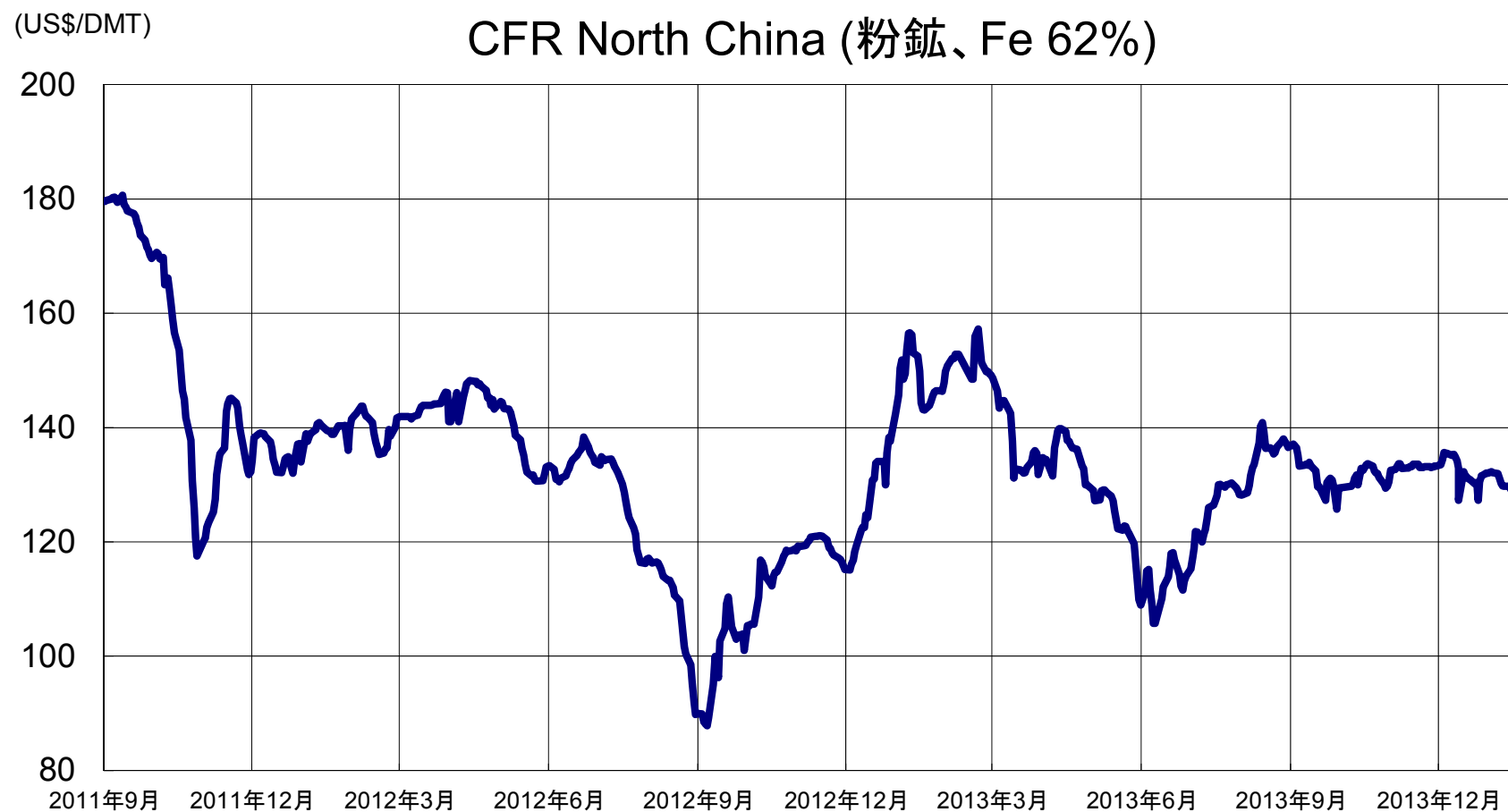


# 機構改組 営業本部組織の再編 (2014年3月期)

- 商品を超えた幅広いシナジー創出の為、事業領域を集約 (14/3期より15 ⇨ 12営業本部)<sup>(\*)</sup>
  - ☑ 「機械・輸送システム本部」の新設
  - ☑ 「次世代・機能推進本部」の新設 (横串機能の発揮、次世代ビジネス創出に資する機能の提供)
  - ☑ 事業領域の統合・移管 (プロジェクト、機能化学品、コンシューマーサービス事業)
- 2013年10月1日付けで電力会社向け販売を除く石炭事業をエネルギー第一本部から金属資源本部に移管<sup>(\*\*)</sup>

事業分野	セグメント	新営業本部	事業領域の移管	旧営業本部
金属	鉄鋼製品 金属資源	鉄鋼製品 金属資源 <sup>(**)</sup>		鉄鋼製品 金属資源
機械・インフラ	機械・インフラ	プロジェクト (新)機械・輸送システム	物流インフラ事業 (港湾や空港ターミナル等)	プロジェクト 自動車・建機事業 船舶・航空
化学品	化学品	基礎化学品 機能化学品	先端材料事業 (液晶や電子デバイス等)	基礎化学品 機能化学品
エネルギー	エネルギー	エネルギー第一 エネルギー第二		エネルギー第一 エネルギー第二
生活産業	生活産業	食糧 食品事業 コンシューマーサービス事業	メディア事業 (TVショッピング、放送等)	食糧 食品事業 コンシューマーサービス事業
次世代・機能推進	次世代・機能推進	(新)次世代・機能推進		情報産業 金融・新事業推進 物流

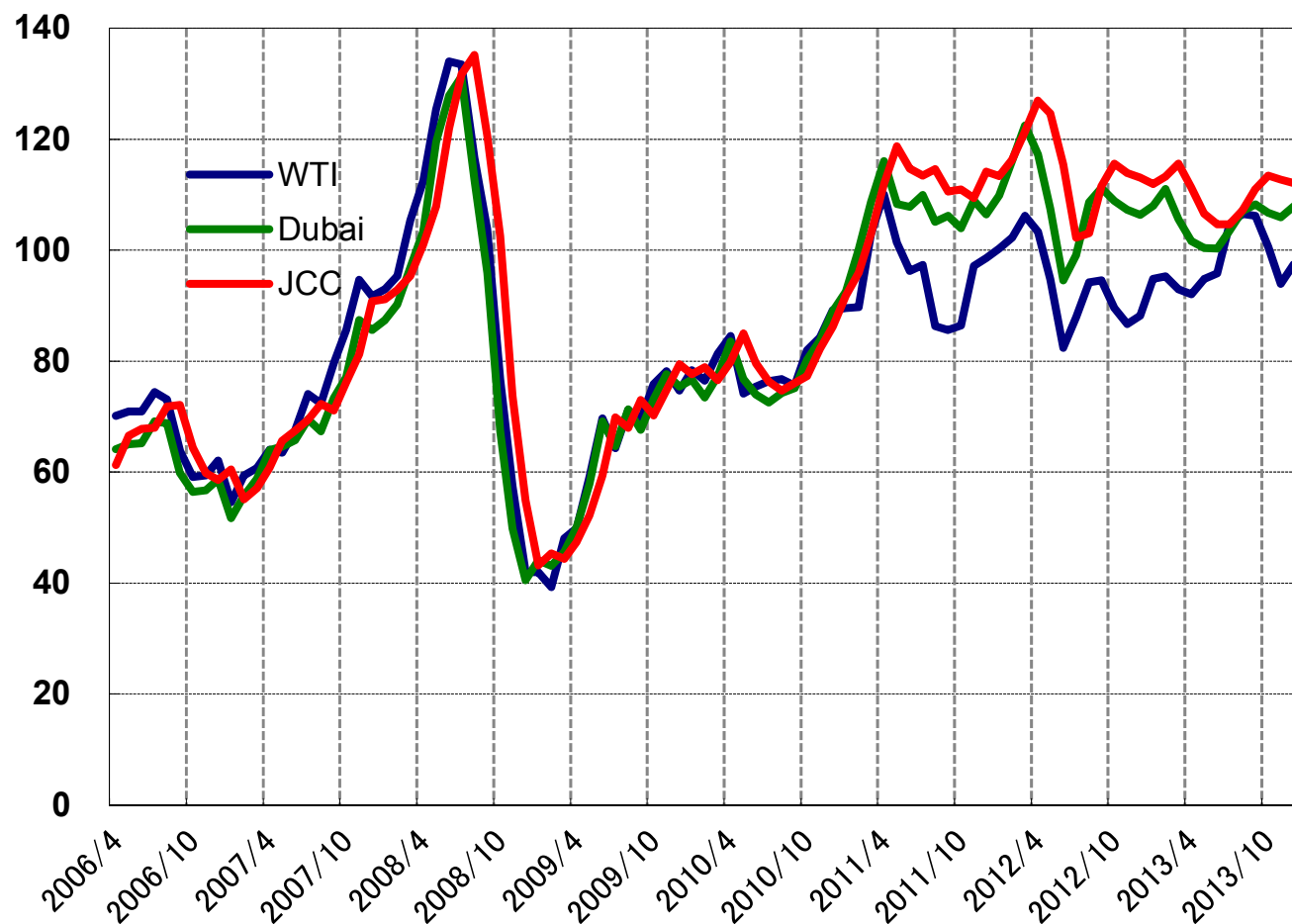
# 中国向け鉄鉱石スポット価格推移\* (参考値)



\*業界紙複数社によるスポット指標平均

# 原油価格推移

US\$/バレル



## 当社持分権益出荷量実績

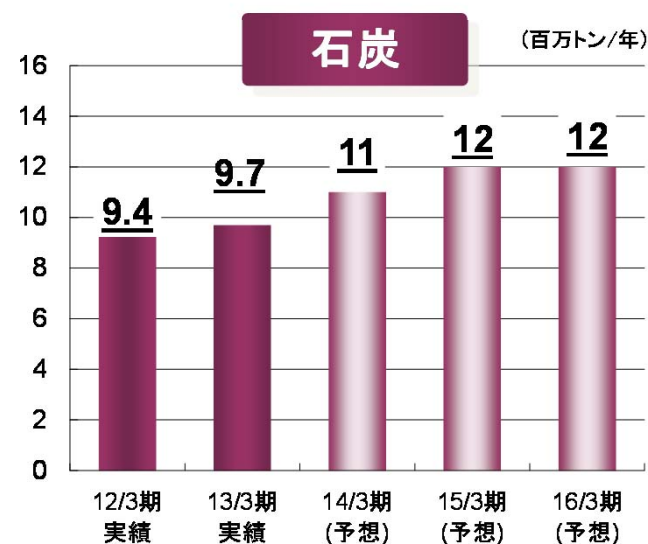
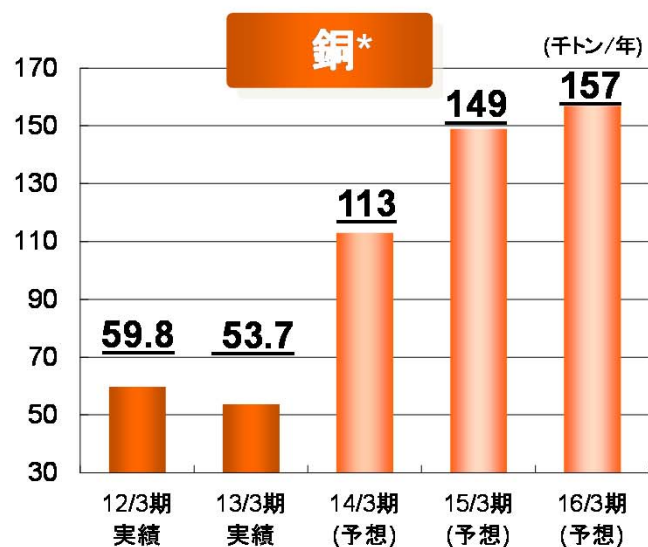
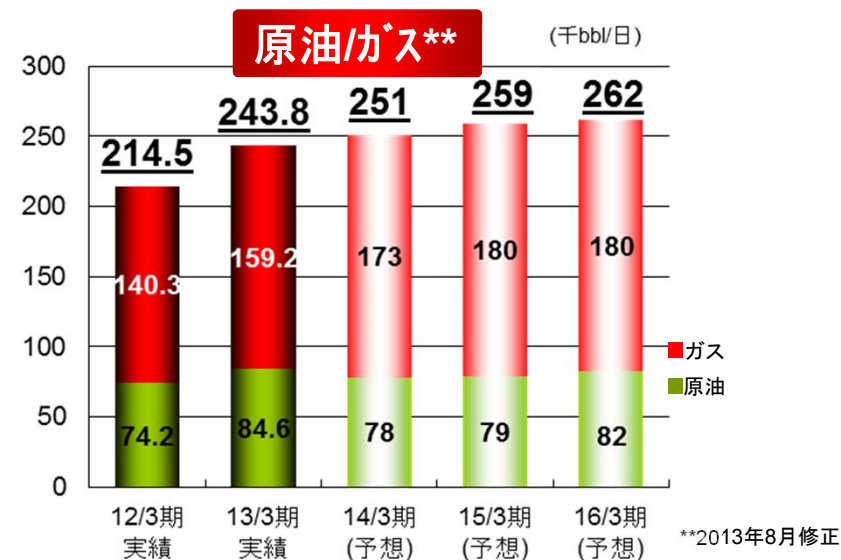
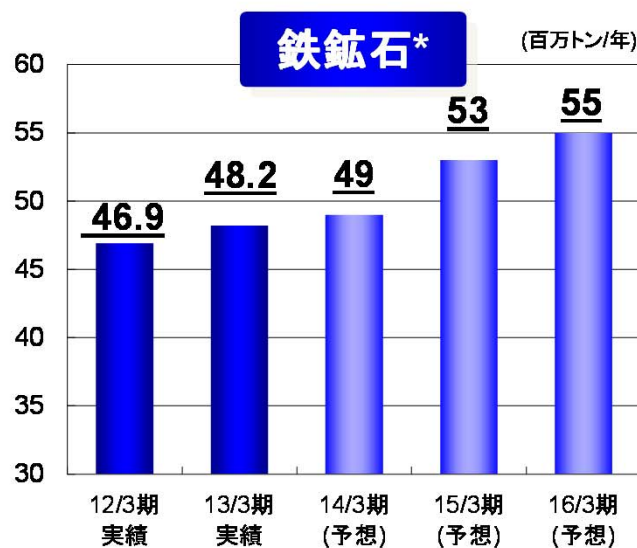
	13/3期 1Q	13/3期 2Q	13/3期 3Q	13/3期 4Q	13/3期 累計	14/3期 1Q	14/3期 2Q	14/3期 3Q*	14/3期 累計
鉄鉱石 (百万トン)	11.4	12.4	12.7	11.7	48.0	12.0	13.0	13.5	38.5
MIOD	7.0	7.6	7.6	6.3	28.6	7.4	8.1	8.0	23.5
MII	1.1	1.0	1.1	1.1	4.2	1.3	1.3	1.3	4.0
Vale**	3.3	3.8	3.9	4.2	15.2	3.3	3.6	4.2	11.0
石炭 (百万トン)	2.5	2.5	2.6	2.0	9.6	2.5	2.7	2.8	8.0
MCH	2.1	2.2	2.3	1.7	8.3	2.1	2.3	2.4	6.8
BMC**	0.3	0.3	0.4	0.3	1.3	0.4	0.4	0.4	1.2
原料炭	1.9	1.8	1.8	1.4	7.0	1.6	1.7	1.9	5.3
一般炭	0.5	0.7	0.8	0.6	2.6	0.8	1.0	0.9	2.7
銅 (千トン)***	11.1	10.9	12.5	20.0	54.4	21.2	23.6	31.2	75.9

\* 石炭は速報数値 \*\* Vale、BMC及び銅は1Q:1-3月、2Q:4-6月、3Q:7-9月、4Q:10-12月の実績 \*\*\* Vale出荷分の5%含む

※合計が合わない箇所は四捨五入による。

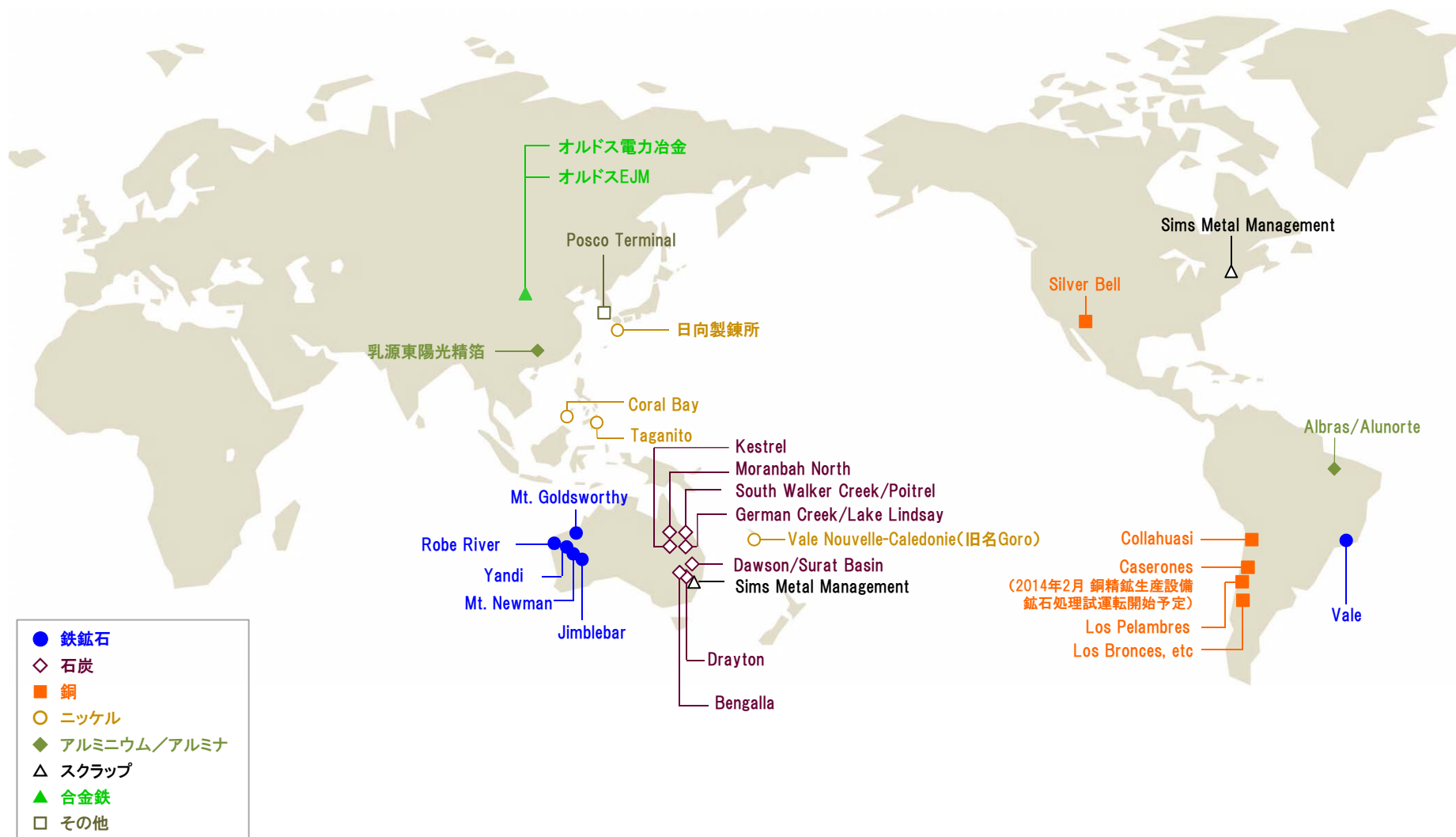
# 当社持分権益生産量

(2013年5月公表)



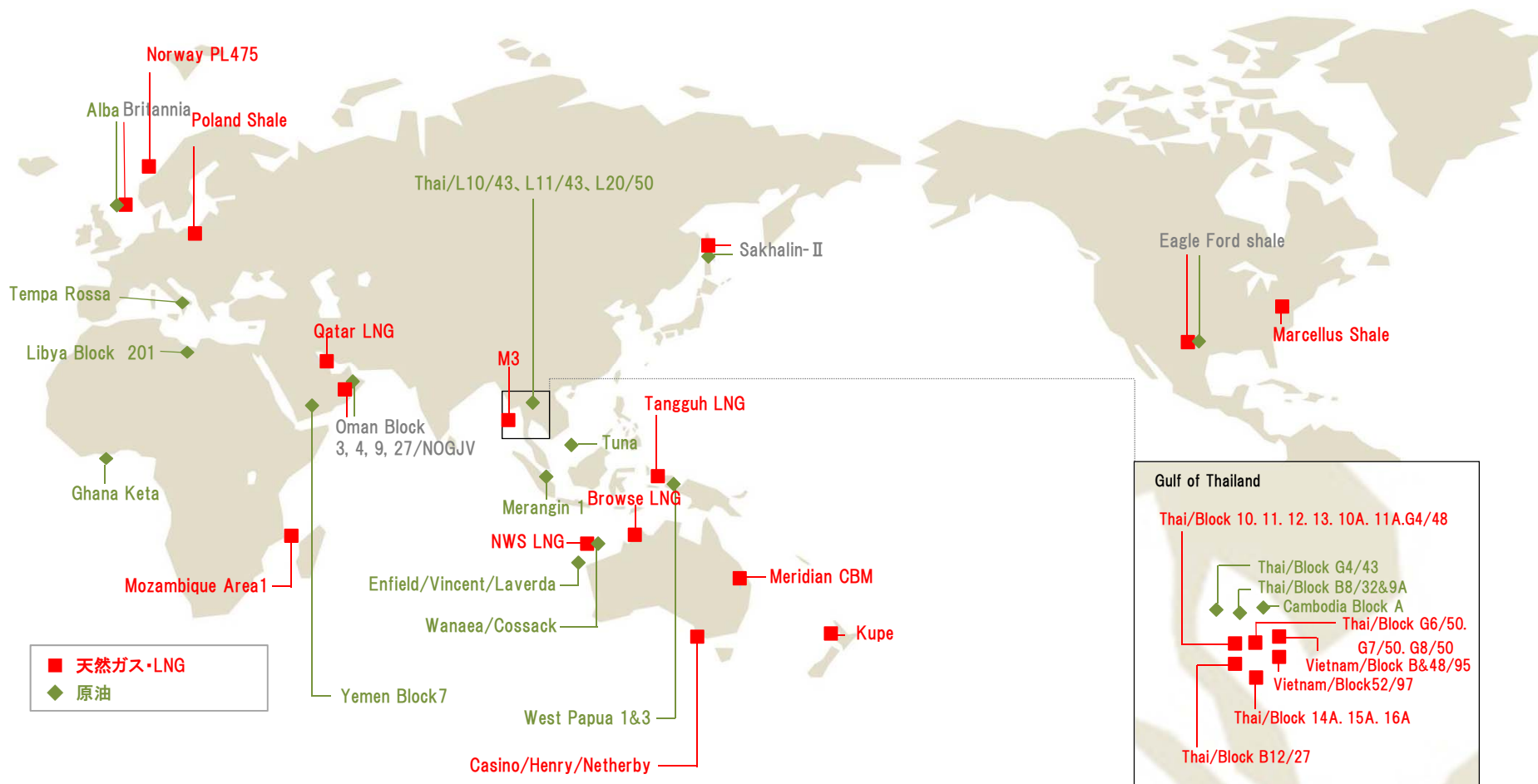
2013年12月末現在

# 金属資源の主なプロジェクト



2013年12月末現在

# エネルギーの主な上流権益



2013年12月末現在

# 原油・ガスの主な上流権益



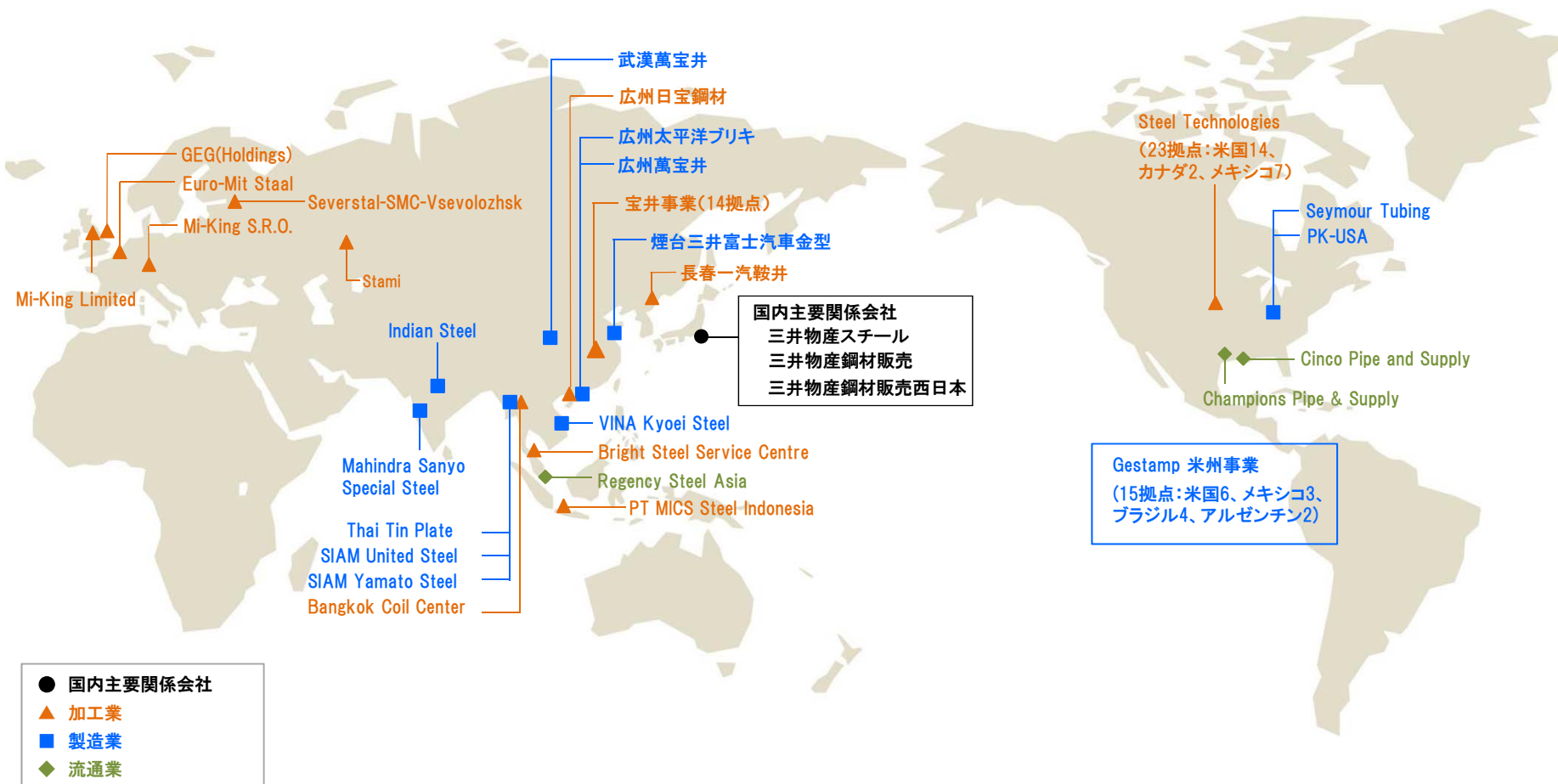
	探鉱段階	開発段階	生産段階
天然ガス LNG	<p><b>豪州:</b> Laverda*1 and 23 other permits (MEPAU)</p> <p><b>ニュージーランド:</b> PEP50119 and PEP54863 (MEPAU)</p> <p><b>パプアニューギニア:</b> PPL426 (MEPAU)</p> <p><b>タイ:</b> Block L10/43.L20/50 and 3 other permits (MOECO)</p> <p><b>ベトナム:</b> Blocks B&amp;48/95, 52/97*1 (MOECO)</p> <p><b>カンボジア:</b> Block A (MOECO)</p> <p><b>インドネシア:</b> Merangin I, Tuna, West Papua I / III (MOECO)</p> <p><b>ミャンマー:</b> M3 (MOECO)</p> <p><b>ポーランド:</b> Poland Shale (MEPPOL)</p> <p><b>ノルウェー:</b> PL475 (MOECO)</p>	<p><b>米国:</b> Marcellus Shale (MEPUSA)*2 Eagle Ford Shale (MEPTX)*2</p> <p><b>豪州:</b> Meridian CBM (MEPAU)*2 Browse LNG (JAL-MIMI)</p> <p><b>モザンビーク:</b> Area1*1 (MEPMOZ)</p>	<p><b>ロシア:</b> Sakhalin II LNG (Sakhalin Energy)</p> <p><b>豪州:</b> NWS LNG (JAL-MIMI), Casino/Henry/Netherby, Meridian CBM (MEPAU)</p> <p><b>ニュージーランド:</b> Kupe (MEPAU)</p> <p><b>タイ:</b> Blocks 10.11.12.13.10A.11A.G4/48, Block B12/27, Blocks 14A.15A.16A, Blocks B8/32&amp;9A, Block G4/43 (MOECO)</p> <p><b>インドネシア:</b> Tangguh LNG (KG Berau/KG Wiriagar)</p> <p><b>米国:</b> Marcellus Shale (MEPUSA) Eagle Ford Shale (MEPTX)</p> <p><b>カタール:</b> Qatargas 1 LNG (MILNED) Qatargas 3 LNG (Mitsui Qatargas 3)</p> <p><b>オマーン:</b> NOGJV (MEPME)</p> <p><b>英国:</b> Britannia (MEPUK)</p>
	原油	<p><b>イエメン:</b> Block 7 (MEPME)</p> <p><b>リビア:</b> Block 201 (MOECO)</p> <p><b>モザンビーク:</b> Area1*1 (MEPMOZ)</p> <p><b>ガーナ:</b> Keta (MEPGK)</p>	<p><b>米国:</b> Eagle Ford Shale (MEPTX)*2</p> <p><b>イタリア:</b> Tempa Rossa (MEPIT)</p>

\*1 既発見未開発鉱区 \*2 一部生産段階移行済



2013年12月末現在

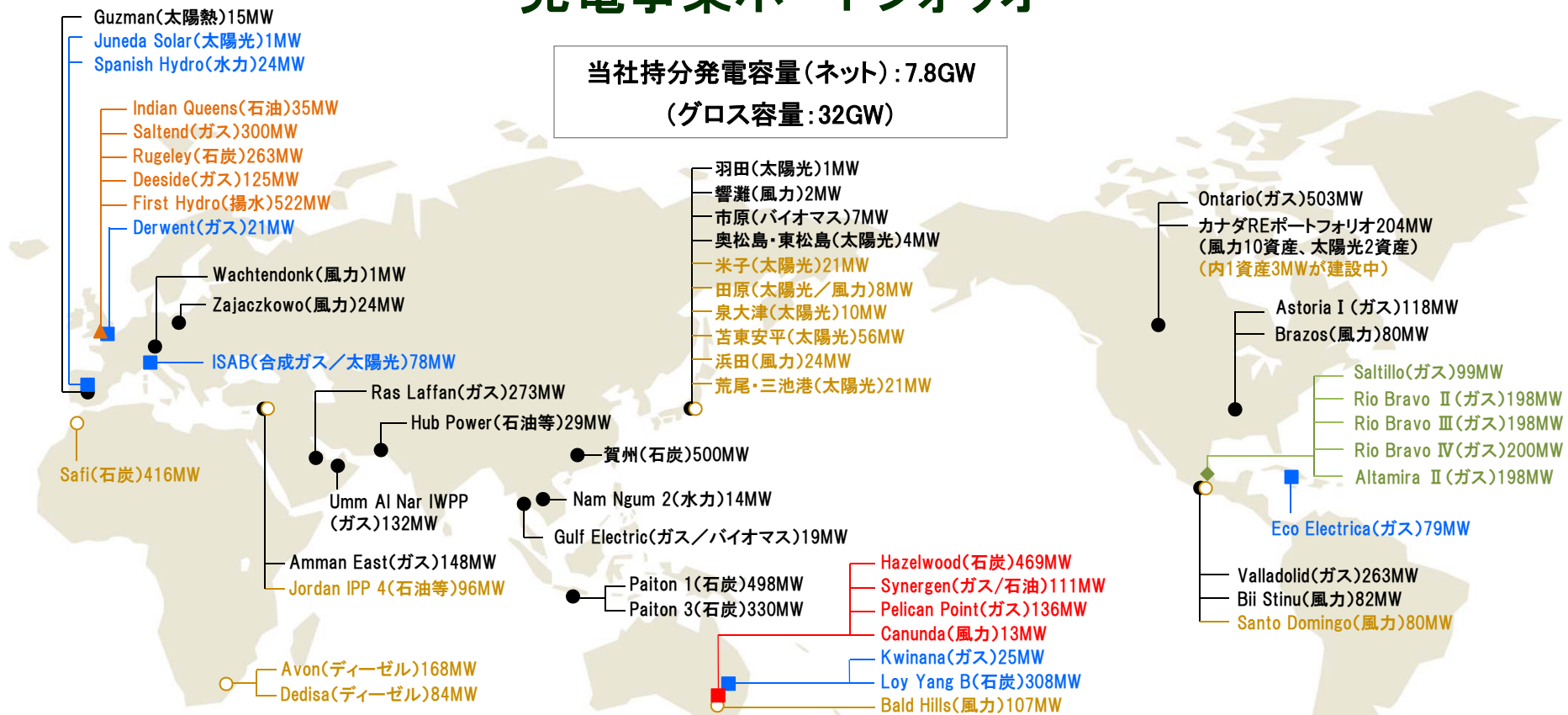
# 鉄鋼製品の主な事業投資



2013年12月末現在

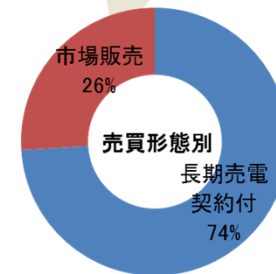
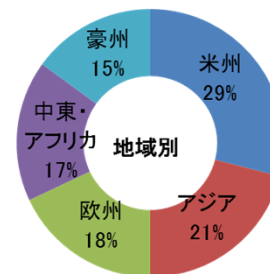
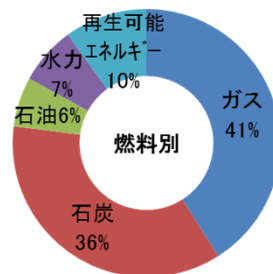
# 発電事業ポートフォリオ

当社持分発電容量(ネット): 7.8GW  
(グロス容量: 32GW)



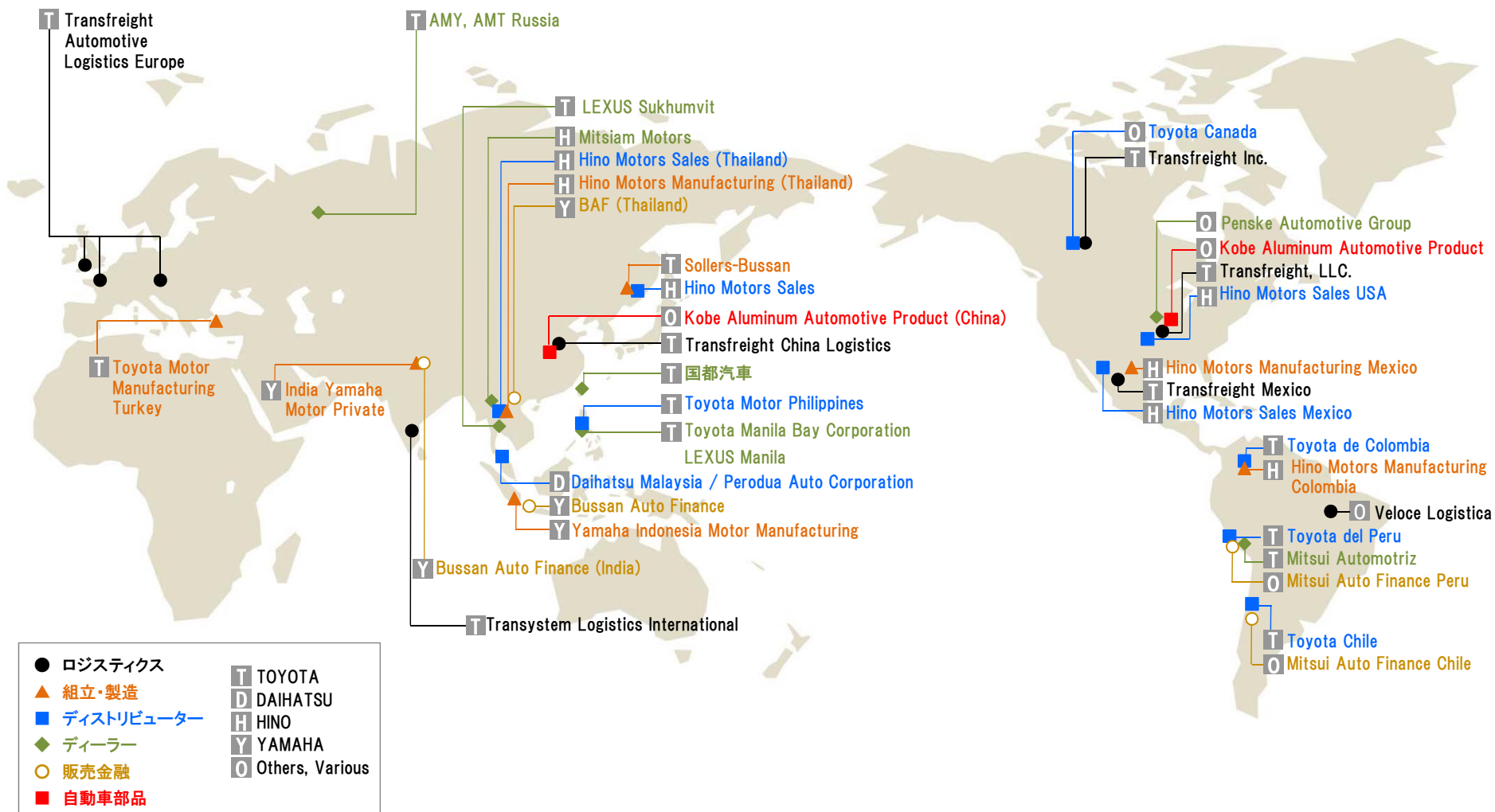
- ▲ IPM (UK) Power社保有資産
- IPM Eagle社保有資産
- ◆ MT Falcon保有資産
- IPAH保有資産
- その他
- 建設中発電所

ポートフォリオ分類



2013年12月末現在

# 自動車事業ポートフォリオ



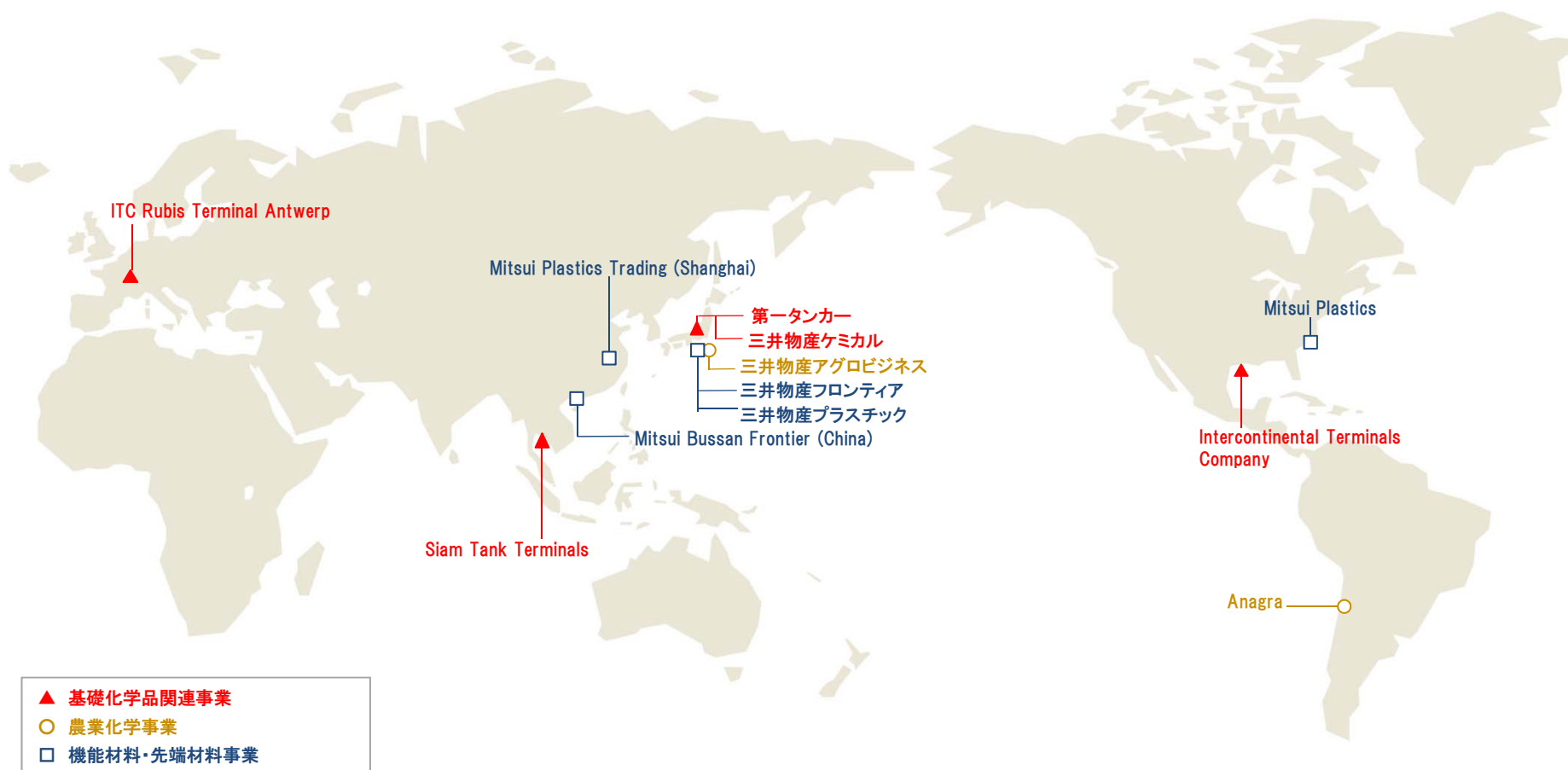
2013年12月末現在

# その他の主な機械・インフラ事業



2013年12月末現在

## 化学品の主な物流事業型投資



2013年12月末現在

# 化学品の主な製造事業型投資



2013年12月末現在

# 食糧・食品事業の主な海外事業投資



2013年12月末現在

# コンシューマーサービスの主な事業投資

